

養介護施設管理者を対象に行った総点検結果に対する検証について

<目的>

養介護施設管理者を対象に行った総点検結果を高齢者支援課として検証を行い課題等の抽出したが、それらに対する意見や各専門的立場からの検証・分析をしていただき、今後の養介護施設の虐待防止の取り組みに活かしていく。

1 経緯

- 研修会の実施 新潟市養介護施設・養介護事業管理者等「高齢者虐待防止」研修会
 - ・目的：養介護施設等施設長・管理者が「高齢者の権利擁護と虐待防止の基礎的理解をし、虐待防止の体制整備・職員研修等の実施」を行い、高齢者虐待の発生防止を図る。
 - ・開催日：平成27年1月30日（金）、平成27年2月2日（月）
 - ・研修内容：養介護施設等における「権利擁護と虐待・不適切なケア」
～施設長・管理者の役割について～
講師 社会福祉法人 桜井の里福祉会 常務理事・総合施設長
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会 常務理事
高齢者虐待の要因分析と地方自治体の施策促進に関する調査研究事業委員

佐々木 勝則 氏

- 上記の研修会受講後、施設長としての「権利擁護」の自己点検（意識調査）の結果をとりまとめるため、入所施設に対し権利擁護の総点検を実施
 - ・実施期間：平成27年2月5日～16日
 - ・対象施設：426施設（回収率100%）
 - ・設問構成：1. 管理者の知識・意識（9問）、2. 組織体制（11問）、3. 職場の実態（11問） 合計31問

2 高齢者支援課として総点検の結果から設問から抽出した課題等について 別紙1

【設問構成】

【課題】

・管理者の知識・意識



○管理者の虐待防止に対する認識及び取り組みの視点について定期的に認識する機会が必要

・組織体制
・職場の実態



○虐待や権利擁護に関する教育や研修の機会の確保が必要
○職員の悩みや不満、ストレスを解消する風土や仕組みづくり、業務や勤務体制の改善に向けた組織運営の見直しが必要

資料

第1回新潟市高齢者虐待防止連絡協議会
平成27年9月2日開催

施設等（研修会・自己点検）

施設種別	対象施設数 (ユニット型・従来型重 複は1でカウント)	研修 参加数	自己点検票 提出数
特別養護老人ホーム	71	70	71
介護老人保健施設	36	35	36
介護療養型医療施設	6	5	6
グループホーム	48	46	48
ショートステイ	119	103	119
小規模多機能型居宅介護（複合型含む）	52	45	52
養護老人ホーム	1	1	1
有料老人ホーム（介護付）	13	11	13
有料老人ホーム（住宅型）	33	23	33
サービス付き高齢者向住宅	24	12	24
軽費老人ホームA・ケアハウス	23	16	23
合計	426	367	426

3 「権利擁護」自己点検の結果 別紙2 別紙3

4 上記3の結果に対するの検証・分析

- ① 市の分析に対する意見
- ② 結果に対するの意見や問題点
- ③ 課題の抽出
- ④ 今後市としての取り組みへの意見

【市としての取り組み】

- ・養介護施設に対するの研修の実施
- ・養介護施設従事者の虐待対応マニュアルの改訂
- ・「養介護施設従事者等による」高齢者虐待リーフレットの作成